

## 指 定 管 理 者 評 価 シ ー ト

所 管 課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課
評価対象期間	平成25年4月1日～26年3月31日

施 設	名 称	川西作業所
	所 在 地	兵庫県川西市小戸3丁目12番10号
	設置目的	心身障がい者の福祉向上のため、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、18歳以上の身体障害者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うことを業務とする。
	利用料金制	非利用料金制・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">一部利用料金制</span> ・完全利用料金制
指 定 管 理 者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定業務の内容	(1) 18歳以上の身体障害者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うこと。 (2) 施設の利用の承諾、その取消し、その他福祉センターの利用に関すること。 (3) 施設の利用料の徴収及び免除に関すること。 (4) 施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (5) 施設の開館時間及び休館日の変更に関すること。 (6) そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。	
指 定 期 間	平成24年4月1日～29年3月31日	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
1 施設の設置目的の達成に関する取組み[有効性]	B		A		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		A		
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A	平成25年度は、障害福祉サービス事業・就労継続支援B型・定員(35名)として、事業を実施いたしました。個別支援をしていくにあたり、新規作業の開拓や作業の分業化による作業可能種目の確保に努めています。利用契約数は定員を超えており、新規利用が難しい状態(平成26年3月31日現在)になっています。	A	障害福祉サービスの就労継続支援B型(定員35名)として、事業を実施した。利用者との個別面談やアンケートを実施し、適切な個別支援計画の作成に努めているほか、新規作業の開拓や作業の分業化による作業可能種目の確保を行った。	新規の利用希望者を受け入れられるよう対策を講じられたい。
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B				
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	B				
改善項目		利用者の重度化や高齢化の対策について、検討していく必要があると考えています。		引き続き、利用者の重度化や高齢化への対応策を検討していく必要がある。	
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	平成25年度契約者数は、定員35名に対し39名(平成26年3月31日現在)でした。年間延利用者数は7,139人でした。前年度より3人の利用減でした。75%以上の利用率を目指しておりましたので、安定した利用をしていただけたと考えています。利用率向上のため、感染性胃腸炎やインフルエンザが施設で流行せぬように常に注意を喚起しています。	A	平成25年度契約者数は、定員35名に対し39名(平成26年3月31日現在)、年間延べ利用者数は7,139人で前年度より3人の利用者減となったが、出席率は73.6%で、概ね安定した利用状況と考えている。	特になし
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B				
改善項目					

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(3) 利用者の満足度	A		A		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A		A		
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A	多くの方が、「社会参加」「生活リズムの維持」「多くの工賃」「就職」などの理由で利用されています。	A	利用者との個別面談やアンケートを実施し、適切な個別支援計画の作成に努めている。	特になし
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B		A		
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B		B		
改善項目			利用者から単純作業の繰り返しが多く、同じ作業を続けるのはつらいという意見が出ています。しかしながら、個人個人の能力にあった作業の種類を確保することがとても難しくなっており、工賃収入増加のためにも、新しい取組の検討が必要になってきています。		
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		
(1) 経費の節減	A		A		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	直接サービス職員(職業指導員・生活支援員)5名のうち3名が臨時職員となっています。そのほか車両リースなど経費節減が行われてきました。障害福祉サービス事業を続けていく上で、サービス低下とならぬように、日々努めています。	A	継続的に経費節減に努めている。	正規職員と臨時職員の適切なバランスを考慮した人員配置を行われたい。
指定管理者から再委託が行われた場合、それが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		A		
改善項目		利用者の障がいの重度化、多様化と高齢化に十分な対応できるように、正規職員、臨時職員の配置バランスの再検討が必要になっています。		限られた資源の中で、利用者の重度化や高齢化に対応した職員配置等を行う必要があることから、経費の点検等を継続的に行い、一層効率的な運営を行っていく必要がある。	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	A		A		
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	平成25年度は、自立支援費収入は、前年より250,104円増となりました。	A	引き続き、出席率の向上に向けた取り組みを行い、給付費収入の増額に努められたい。	特になし
改善項目					
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	A		A		
収支のバランスが適切であったか。	A	支出面では、安全衛生のため、ナースコールの修繕、男子トイレの衛生設備改修(自動水栓化)、女子トイレの衛生設備改修、厨房ダクト改修、消防設備改修などを行いました。	A	概ね安定的に運営されている。	特になし
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A		A		
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		A		
改善項目				施設の経年化に伴い、修繕個所の増加が見込まれることから、日常の管理運営の中で、修繕の必要な個所を的確に把握し、計画的な修繕が行えるよう努められたい。	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		
(1) 管理運営の実施状況	B		A		
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	B	公の施設として運営する中で、サービス管理責任者が直接サービス職員の業務に協力する必要がある場面が多くあり、サービス管理責任者の職務に集中できないことがあります。	A	限られた人員で適正に運営されている。	職員の研修や教育の機会を確保するため、法人内の他事業所との相互支援など、適切な方法を検討されたい。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B		B		
施設の維持管理が適切に行われたか。	A		A		
指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	B		B		
改善項目		施設利用者の重度化、高齢化、多様化に伴って、利用者への支援のあり方も専門性が問われてきており、職員の資質向上に向けて、施設内外研修の参加を増やしていきたい。 また、施設の老朽化が進んだりすると諸問題はあるが、改善に取り組んでいきたい。		利用者の重度化、高齢化に伴い、さらなる支援技術の向上が求められることから、研修の充実等を通じ、職員の資質向上に努められたい。	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	B	年4回の消火・通報・避難訓練を実施しています。利用者に、必要な情報はその都度文書及び口頭で説明しています。作業上の安全対策は、施設運営の基本要素であり、作業毎に対策をとっています。25年度は、川西市に、屋上の防水工事及び避難器具(螺旋滑り台)のサビ取塗装、防火シャッターの安全装置改修などを実施していただきました。	B	必要な安全対策や訓練等を実施するなど、概ね適正に運営されている。	特になし
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		A		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	B		A		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A		A		
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A		A		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。					
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		A		
改善項目		空調設備のうち、室内機、配管の改修がされておらず、水漏れ等の問題が生じる場合があります。		ホームページの充実等により、利用者や家族等への情報提供を充実させるとともに、市民への広報活動を通じ、施設や障がい者に対する理解が深まるよう努められたい。	
総合評価	A	平成25年度は、障害福祉サービス事業就労継続支援B型のサービスを実施しました。施設の建物・設備は28年を経ており、順次、川西市と協議しながら、老朽化改善対策を行ってまいります。	A	概ね適正に運営されている。引き続き、出席率の向上等を図り、安定的な運営に努められたい。	概ね適正に運営されている。
改善項目		夏季休暇取得期間などは、職員が不足がちになることがあります。しかしながら、施設利用者の重度化、多様化、高齢化により、職員が対応しなければならない事例が増加しています。より安全な施設の体制がとれるような職員配置を再検討していく必要があります。			